

ステップ教室だより



日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
令 和 6 年 4 月 1 0 日
特別支援教室【ステップ教室】

新年度が始まりました。在籍学級の子供たちの様子を見にいくと、新学年・新クラスで新たなスタートを切った姿が見られます。子供たちが自分たちの成長を感じながら楽しい学校生活を送れるように、ステップ教室担当一同、団結して取り組んでまいります。

ステップ教室はこんなところです

ステップ教室は、現在学んでいる学級（在籍学級）において、子供たちがより円滑に学習や生活に参加できるよう支援を行う教室です。（利用対象者：以下、日野市教育委員会発行の「特別支援教室『ステップ教室』運営マニュアル」P14「ステップ教室の利用対象について」より一部抜粋）

通常の学級に在籍し、知的障害がなく発達障害等があり、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童・生徒である。

例えば・・・

○友達とコミュニケーションがうまくとれない。
○授業中落ち着かず、授業に集中できない。
○文を読む、書くといったことが苦手である。
○気持ちのコントロールが苦手である。等



●他者とのより良い関係を築いていく力を育てる。
●自信をもって、最後まで取り組む力を高める。
●自分に合った学習の仕方を身に付けていく。
●自分に合った気持ちのコントロール方法を学ぶ。等

ステップ教室では、一人一人が自分のよさに気づき、互いのよさを生かし合う教育活動を進めていくために、通う児童本人だけでなく、校内の教職員や児童に対しても、ステップ教室への理解、啓発の活動を行っています。

全校児童への指導内容

- ・一人一人の家族・経験・感じ方・考え方・学び方などは、みんな違います。違って当たり前で、誰がよくて、誰が間違っているということはありません。みんな違って、みんなよいが基本です。
- ・お互いの良いところ、違うところを理解し、互いに学び合い、高め合うことが自然にできるようにします。
- ・困っている人がいたら、お互いに声を掛け合って、助け合い、支え合うことが自然にできるようにします。
- ・一人一人得意なこと、苦手なことも違うので、互いに理解していくことが大切です。
- ・学び方が違うということは、学ぶ場所も違ってよいということです。自分の苦手なところを別の場所で、丁寧に時間をかけて勉強することが大切です。

担当教員の紹介

本年度は巡回指導教員7名と特別支援専門員1名で指導を行っています。巡回指導教員は八小と潤徳小で指導を行っています。よろしくお願いします。



①名前
②得意なこと

①分銅喜江
②料理・手芸

①岸本淳一
②歌うこと

①奥野藍
②どろだんご作り

①佐々木望
②野球

①小川奈苗
②カメのお世話

①渡邊健人
②何でも食べられること

①佐藤未貴
②泳ぐこと

①高橋直美
②花の名前